

平成 23 年 7 月 27 日（水）
愛知県被災地域支援対策本部
被災者受入対策プロジェクトチーム
担当 丹羽・松井 内線 5381、5383
ダイヤル 052-954-6724

受入被災者アンケート調査結果について

東日本大震災により愛知県に避難されている被災者の現状等を把握し、今後の支援施策の基礎資料とするため、アンケート調査を実施し、その結果を取りまとめましたので、お知らせします。

（主なアンケート結果）

- 愛知県への避難理由としては、「家族、親族がいるから」が 76.4%、「原発や放射能の不安が少ないと思ったから」が 35.6%
- 主たる家計の維持者の就労状況については、「就労している」が 51.5%、「仕事を探している」が 17.8%
- 行政に期待する支援については、「住宅に関する支援」が 35.1%、「資金の支援」が 34.5%、「生活物資の支援」が 31.0%
- 今後の予定等については、「原発事故の収束の見通しによって決める」が 30.4%、「時期はわからないが、いつか地元に戻る」が 23.0%、「見通しがたたない」が 11.5%（これらを合わせた“地元に戻る見通しがたたない”は 64.9%）。また、「このまま愛知県に住む」は 28.7%

（調査方法等）

目的：東日本大震災により愛知県に避難され、生活されている方々の現状等を把握し、今後の支援施策の基礎資料とする。

調査方法：郵送による無記名調査

調査対象：受入被災者登録制度に登録された全世帯（H23.6.30 現在 407 世帯）

調査時期：6月30日から7月11日まで

回答数：174世帯（回収率42.8%）

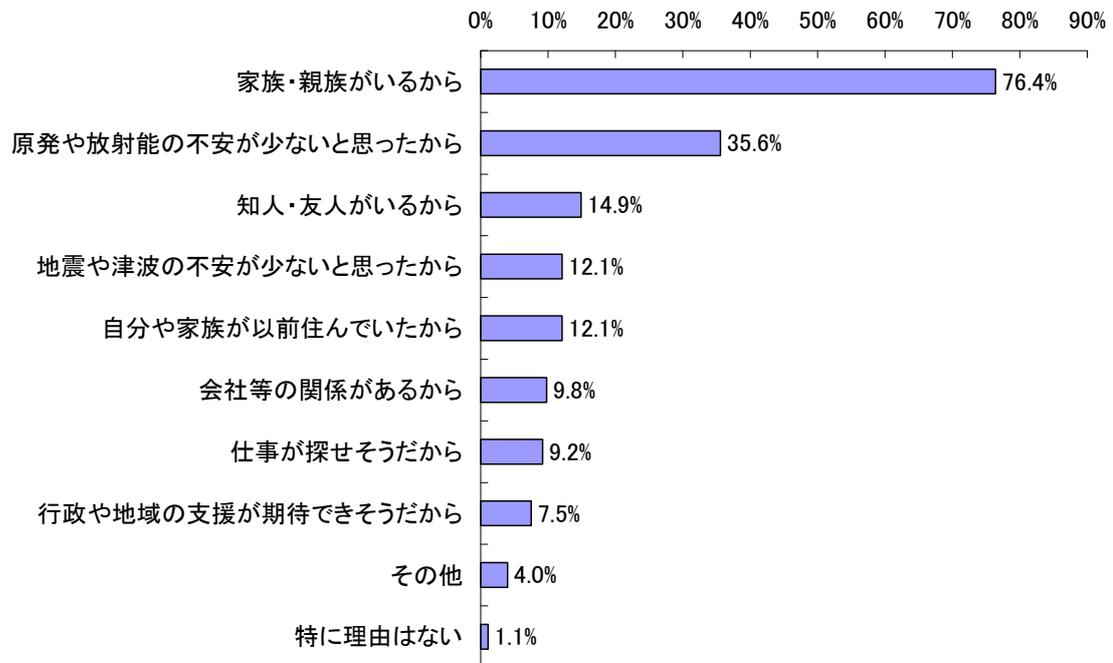
受入被災者アンケート調査結果（概要）

（調査概要）

目的	東日本大震災により愛知県に避難され、生活されている方々の現状等を把握し、今後の支援施策の基礎資料とすることを目的とした。
調査方法	郵送による無記名調査
調査対象者	受入被災者登録制度に登録された全世帯（H23.6.30現在407世帯）
調査時期	6月30日から7月11日まで
回答数	174世帯（回収率42.8%）

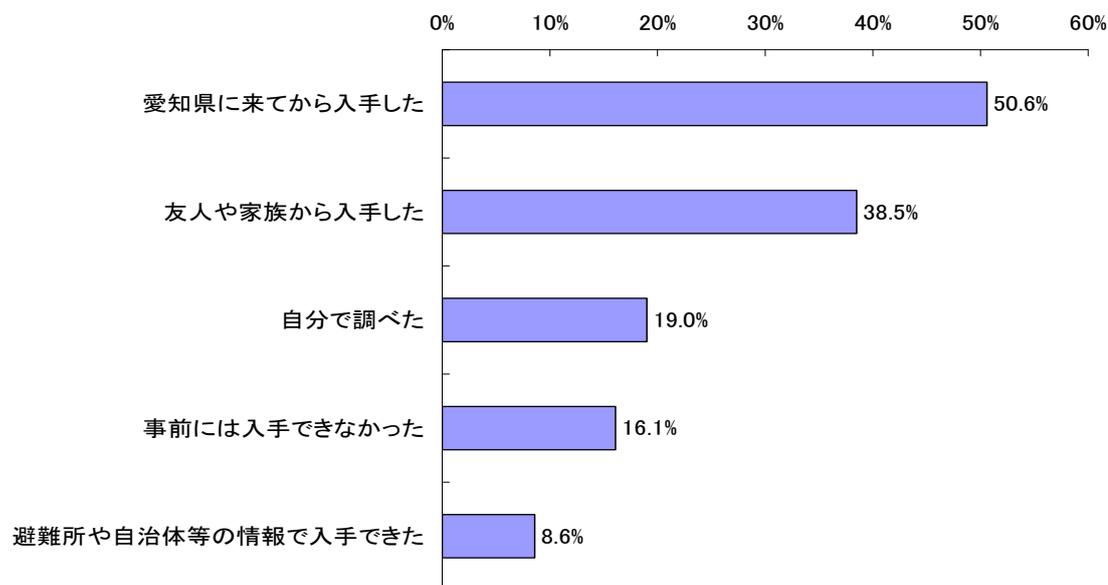
※【質問と回答：全データ】は別添のとおり

1. 愛知県への避難理由（回答は3つ以内）



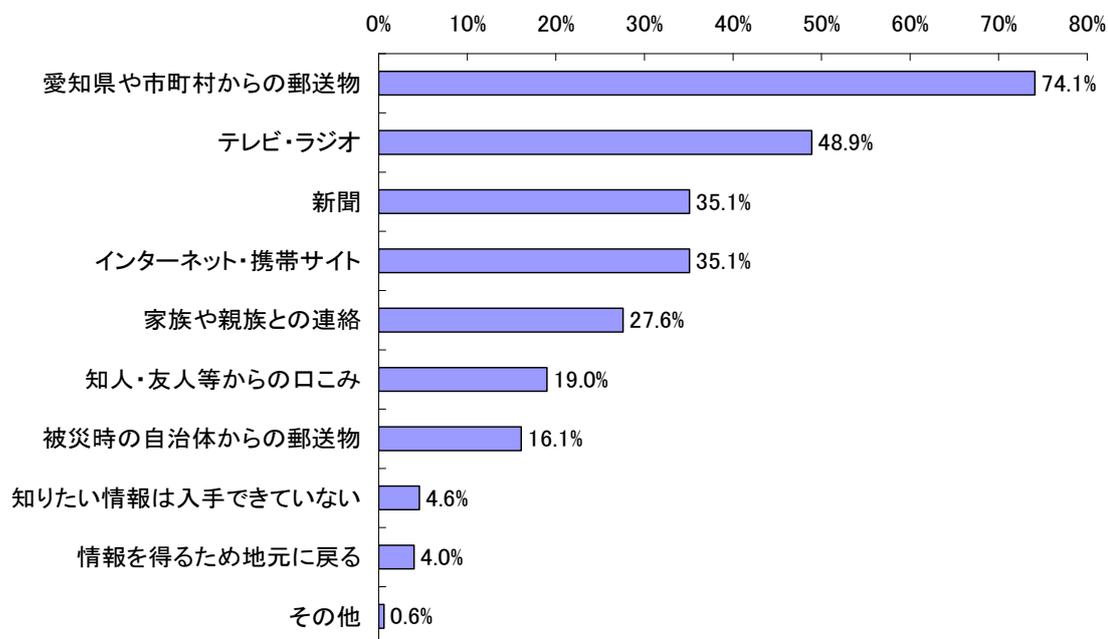
※ 愛知県への避難理由としては、「家族、親族がいるから」が76.4%、「原発や放射能の不安が少ないと思ったから」が35.6%、「知人・友人がいるから」が14.9%となっている。

2. 愛知県の情報事前に入手できたか（複数回答可）



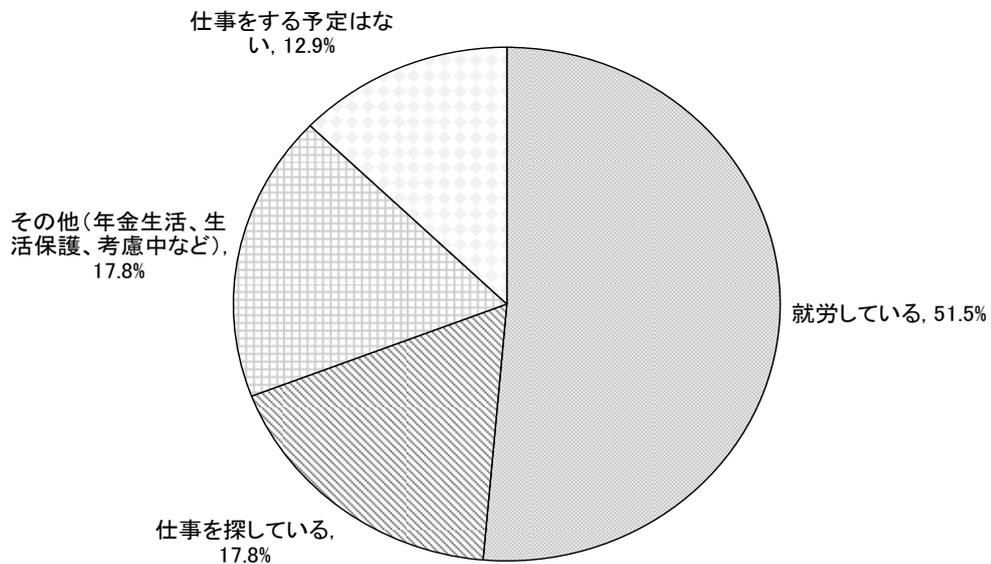
※ 愛知県の情報事前に入手できたかについては、「愛知県に来てから情報を入手した」が 50.6%、「友人や家族から入手した」が 38.5%、「自分で調べた」が 19.0%となっている。

3. 現在、主に情報はどこから入手しているか（回答は3つ以内）



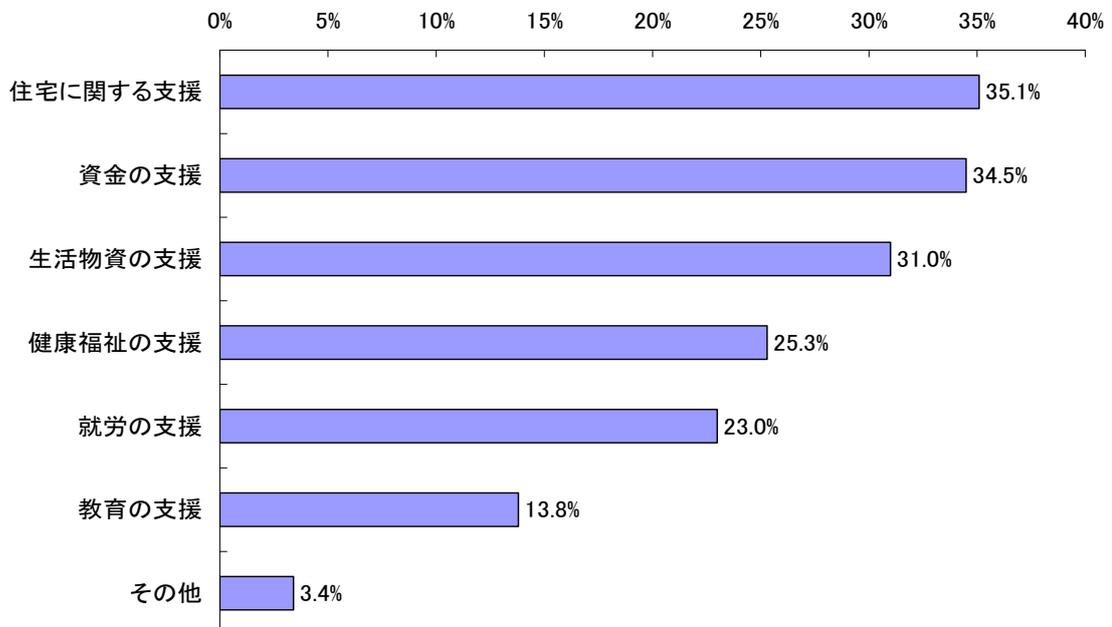
※ 現在の主な情報の入手先は、「愛知県や市町村からの郵送物」が 74.1%、「テレビ・ラジオ」が 48.9%、「新聞」、「インターネット・携帯サイト」がそれぞれ 35.1%となっている。

4. 主たる家計の維持者は就労しているか。(回答は1つ)



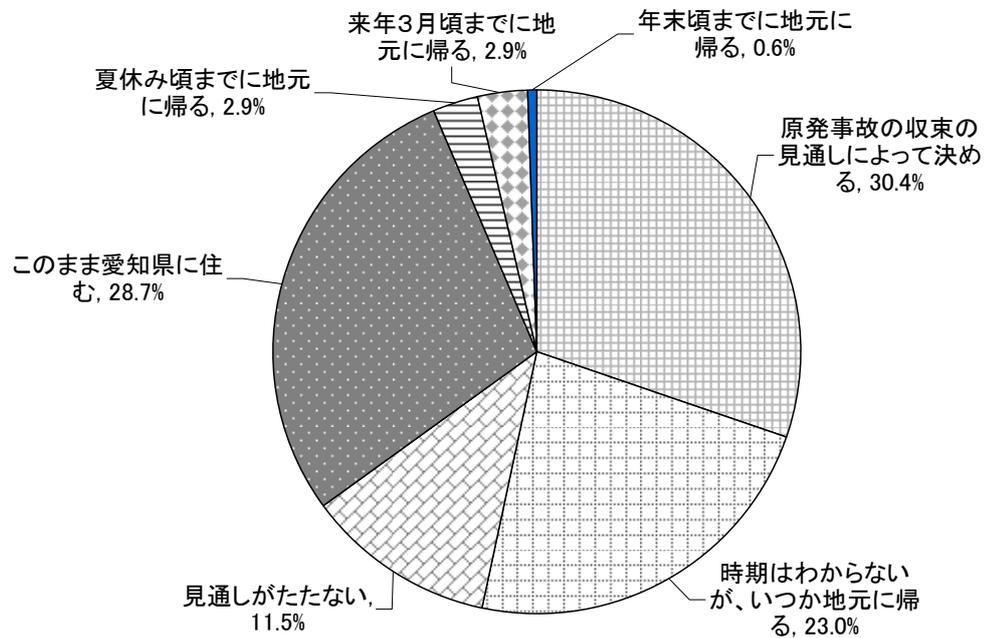
※ 主たる家計の維持者の就労状況については、「就労している」が 51.5%、「仕事を探している」が 17.8%となっている。

5. 行政に期待する支援について、特に必要なもの(複数回答可)



※ 行政に期待する支援については、「住宅に関する支援」が 35.1%、「資金の支援」が 34.5%、「生活物資の支援」が 31.0%、「健康福祉の支援」が 25.3%となっている。

6. 今後の予定等について（回答は1つ）



※ 今後の予定等については、「原発事故の収束の見通しによって決める」が30.4%、「時期はわからないが、いつか地元に戻る」が23.0%、「見通しがたたない」が11.5%となっている。また、「このまま愛知県に住む」は28.7%となっている。

受入被災者アンケート調査結果（質問と回答：全データ）

問 1 あなたの世帯について

ア 東日本大震災発生時にお住まいの地域はどこですか。（回答は1つ）

被災県別	回答数	割合
岩手県	19	10.9%
宮城県	46	26.4%
福島県	101	58.0%
茨城県	5	2.9%
青森県	2	1.2%
千葉県	1	0.6%
合計	174	100%

イ 現在お住まいの市区町村はどこですか。（回答は1つ）

市区町村別	回答数	割合
名古屋市	51	29.3%
豊田市	13	7.5%
岡崎市	9	5.2%
東海市	7	4.0%
小牧市	6	3.4%
春日井市	5	2.9%
半田市	5	2.9%
安城市	5	2.9%
蒲郡市	5	2.9%
豊橋市	5	2.9%
瀬戸市	4	2.3%
西尾市	4	2.3%
大府市	3	1.7%
常滑市	3	1.7%
豊川市	3	1.7%
その他市町村	26	14.9%
未記入	20	11.5%
合計	174	100%

ウ 家族の人数をお答えください。

家族人数別	回答数	割合	うち被災地に家族が残っている世帯	
			世帯数	割合
1人	16	9.9%	0	0%
2人	31	19.1%	5	16.1%
3人	31	19.1%	14	45.2%
4人	34	21.0%	22	64.7%
5人	24	14.8%	16	66.7%
6人	16	9.9%	13	81.3%
7人	4	2.5%	2	50.0%
8人	5	3.1%	5	100%
9人	1	0.6%	1	100%
合計	162	100%	78	48.1%

162世帯の平均家族人数（被災地に残っている家族を含む）は、3.7人。
 なお、被災地に残っている家族がある世帯は、78世帯である。

※被災地に残っている主な理由

仕事のため、子どもの学校があるため、高齢で体調が悪く地元を離れられないため、住み慣れた土地を離れたくないなど

エ 現在、お住まいの住宅をお答えください。（回答は1つ）

住宅別	回答数	割合
県営住宅	59	33.9%
市町村営住宅	31	17.8%
その他公営住宅（県公社・名古屋市 公社・UR・雇用促進住宅）	16	9.2%
実家・親戚・知人宅	40	23.0%
民間賃貸住宅	19	10.9%
社宅	9	5.2%
合計	174	100%

問2 愛知県への避難について

ア 愛知県に避難されたのはいつ頃ですか。(回答は1つ)

避難時期別	回答数	割合
3月	108	62.1%
4月	41	23.5%
5月	13	7.5%
6月	12	6.9%
合計	174	100%

イ 愛知県に避難された理由を、次のうちから3つ以内でお選びください。

避難理由別	回答数	割合
家族・親族がいるから	133	76.4%
知人・友人がいるから	26	14.9%
自分や家族が以前住んでいたから	21	12.1%
会社等の関係があるから	17	9.8%
仕事が探せそうだから	16	9.2%
行政や地域の支援が期待できそうだから	13	7.5%
地震や津波の不安が少ないと思ったから	21	12.1%
原発や放射能の不安が少ないと思ったから	62	35.6%
特に理由はない	2	1.1%
その他	7	4.0%
合計	318	182.8%

問3 避難時の生活について

愛知県に避難された当初、特にお困りだったことを3つまでお選びください。

	回答数	割合
住宅が決まらなかった	18	10.3%
入居した住宅の設備環境(風呂など)が良くなかった	26	14.9%
食料や食器、布団等の生活物資や家電製品がなかった	82	47.1%
生活資金が少なかった	70	40.2%
相談相手がいなかった	14	8.0%
家族が離れて生活することになった	58	33.3%
家族の介護や医療など介護事業所や医院がわからなかった	12	6.9%
災害や避難生活で体調を崩した	38	21.8%
見知らぬ土地で、生活環境が変わった	81	46.6%
その他	16	9.2%
合計	415	238.5%

問4 情報の入手方法について

ア 愛知県の避難者受入れの情報は、事前に入手できましたか。(複数回答可)

	回答数	割合
避難所や自治体等の情報で入手できた	15	8.6%
自分で調べた	33	19.0%
友人や家族から入手した	67	38.5%
事前には入手できなかった	28	16.1%
愛知県に来てから入手した	88	50.6%
合計	231	132.8%

イ 現在、主に情報はどこから入手していますか。該当するものを3つまでお選びください。

	回答数	割合
新聞	61	35.1%
テレビ・ラジオ	85	48.9%
インターネット・携帯サイト	61	35.1%
家族や親族との連絡	48	27.6%
知人・友人等からの口こみ	33	19.0%
愛知県や市町村からの郵送物	129	74.1%
被災時の自治体からの郵送物	28	16.1%
情報を得るため地元に戻る	7	4.0%
知りたい情報は入手できていない	8	4.6%
その他	1	0.6%
合計	461	264.9%

問5 就労・教育について

ア 主たる家計の維持者の方は就労していますか。(回答は1つ)

	回答数	割合
就労している	84	51.5%
仕事を探している	29	17.8%
仕事をする予定はない	21	12.9%
その他(※)	29	17.8%
合計	163	100%

※その他の主なもの

年金生活、生活保護、考慮中など

イ 子どもの教育について、特にお困りのことがあればお書きください。

※主な意見

- ・学校の勉強についていけるのか
- ・制服等学費の援助
- ・幼稚園などの入園案内や評判などが知りたい

問6 健康福祉について

ア 愛知県では、市町村と連携して健康相談等の健康福祉に関する支援を実施していますが、ご利用になったことがあるサービスについてお答えください。(受けたサービスすべてに○をつけてください。)

	回答数	割合
介護保険サービス	14	8.0%
障害福祉サービス	8	4.6%
保育所への入所	26	14.9%
保健センター等での健康相談	10	5.7%
こころの健康相談	4	2.3%
妊婦、乳幼児の健康診断	13	7.5%
その他	4	2.3%
合計(延べ)	79	45.4%

イ 健康福祉について、特にお困りのことがあればお書きください。

※主な意見

- ・医療機関の場所
- ・医療費がかかる
- ・介護リハビリの利用回数を増やしてほしい
- ・予防接種の手続き
- ・保育園の入所
- ・外部被ばく・内部被ばくの検査の実施
- ・障害児のデイサービス

問7 行政の支援について

ア 行政に期待する支援について、特に必要なものをお選びください。

(複数回答可)

	回答数	割合
住宅に関する支援	61	35.1%
生活物資の支援	54	31.0%
資金の支援	60	34.5%
健康福祉の支援	44	25.3%
教育の支援	24	13.8%
就労の支援	40	23.0%
その他	6	3.4%
合計	289	166.1%

イ アで選んだものについて、具体的に支援してほしい内容があれば、お書きください。

	具体的な内容
住宅に関する支援	住宅の無償提供の延長、駐車場代・共益費の支援、住宅の補修費用の支援、民間住宅の借り上げ、住宅情報
生活物資	エアコン・テレビ・カーテン、冬物の支援、
資金の支援	被災地への交通費の支援、見舞金、住宅ローンの軽減
健康福祉の支援	保育所の入所、健診の実施
教育の支援	給食費などの免除
就労の支援	仕事の紹介・雇用、在宅ワーク・内職支援

問8 今後の予定について

福島原発事故の収束を始め震災復興の見通しが定まらない状況にはありますが、現在お考えの今後の予定等についてお答えください。(回答は1つ)

	回答数	割合
このまま愛知県に住む	50	28.7%
夏休み頃までに地元に戻る	5	2.9%
年末頃までに地元に戻る	1	0.6%
来年3月頃までに地元に戻る	5	2.9%
時期はわからないが、いつか 地元に戻る	40	23.0%
原発事故の収束の見通しによ って決める	53	30.4%
見通しがたたない	20	11.5%
合計	174	100%